

2026年1月15日

お客様 各位

大阪厚生信用金庫

【重要】偽メールにご注意ください

日頃は当金庫をご利用いただき、誠にありがとうございます。

昨年末頃から、企業の代表者や自治体、国税庁等に成りすました偽メールを発信し、「SNSのグループを作成させる」「お金を振り込ませる」「機密情報を遅らせる」などの指示を行う事案が全国で確認されています。

1. 偽メールに使われる手口

- ・ LINEグループの作成など、外部サービスへの誘導を行う。
- ・ 経営者や上司に成りすまし、「急いで対応してほしい」と振込や情報提供を求める。
- ・ 本物に似たメールアドレスを悪用して、正規の連絡に見せかける。

【事例(LINEグループ作成を依頼する詐欺)】

件名 : 社名を記載した偽メール

差出人 : 社長を装った偽アカウント

内容例 :

お疲れ様です。

業務利用のため、新しいLINEグループを作成してください。

グループへの他のメンバーの追加につきましては、私が参加したのちに手配いたします。

グループ作成が完了したら招待QRコードを送信願います。

代表取締役社長 ○○ ○○

⇒ LINEグループのQRコードを返信すると犯人から振込を要求されます。

絶対に指示に従わないように注意してください。

2. 不審なメールを受け取った場合

- ・ 不審なメールに返信しない
- ・ 差出人のメールアドレスを必ず確認する
- ・ 内容に不自然な点があれば、正当な相手(自社の社長等)に直接電話などで確認する。
- ・ リンクを開かない、添付ファイルをダウンロードしない。
- ・ 個人情報を送らない。

以上